

青年招へい事業

アジア・太平洋・アフリカ・中南米諸国、サウディ・アラビア
[交流レポート]



2000

国際協力事業団

国内研

JR

01-01

信頼と友情への第一歩

平成12年度青年招へい事業 (アジア・太平洋・アフリカ・中南米諸国、サウディ・アラビア)

【開講式】



真剣な眼差しの青年たち



国際協力事業団より歓迎のあいさつ



真剣な眼差しの青年たち

【共通プログラム】



体験的日本語学習



熱心な質疑応答



日本語学習



消火作業を体験

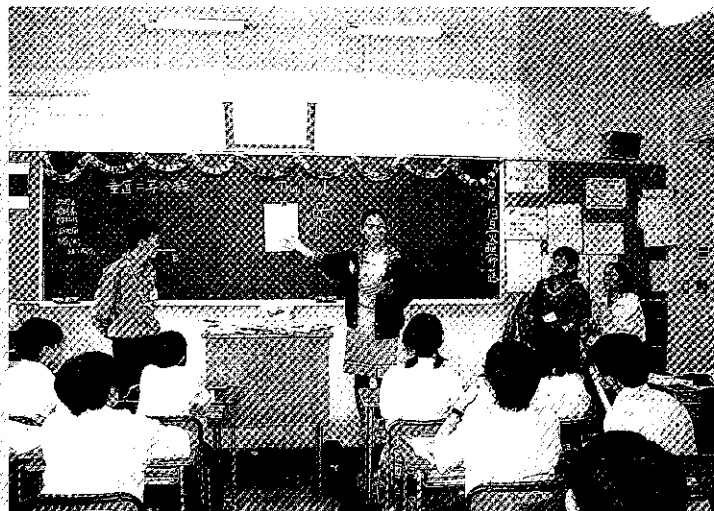


武道体験

[分野別都内プログラム]



病院見学



学校訪問

[合宿セミナー]



グループ別ディスカッション



1173751【7】

友達がたくさんできました

【分野別地方プログラム】



書道体験



蕎麦打ちに挑戦



子供たちとの交流

【ホームステイ】

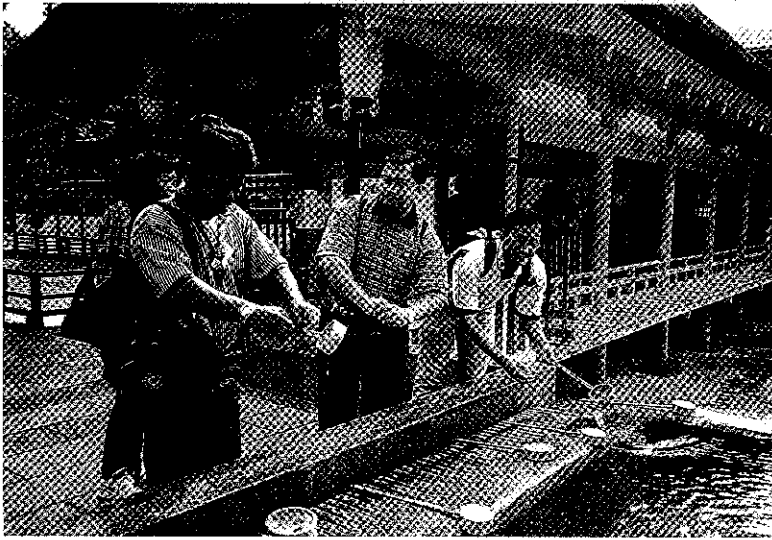


日本の家族です

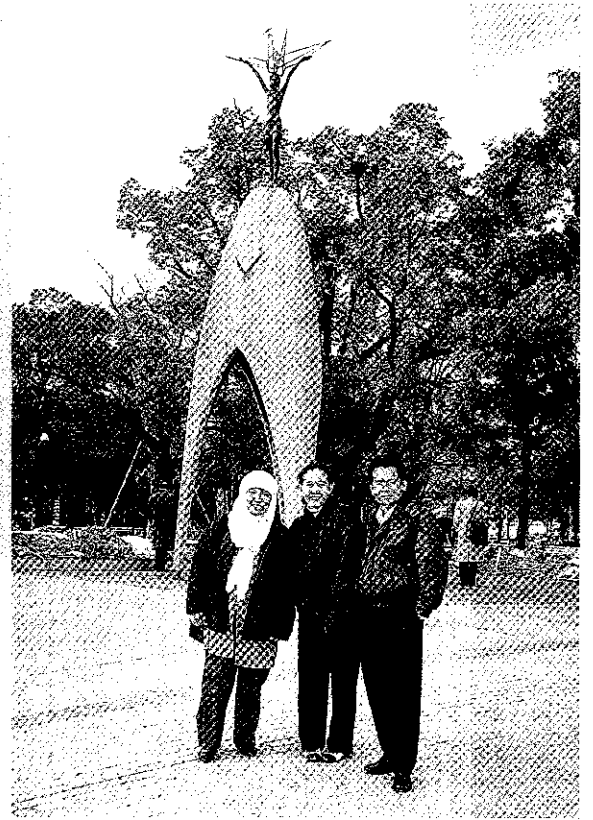
日本の家族です



【見学旅行】



宮島（厳島神社）にて



広島にて

【閉講式・歓送会】



青年を代表してスピーチ



参加証の授与



別れを惜しんで

思い出が頭の中を駆け巡ります

最後まで盛り上げます



青年招へい事業

はじめに

「青年招へい事業」は、国際協力事業団（JICA）が開発途上国を対象に実施する技術協力の一環として、将来の国造りを担う青年を、専門分野別に約1カ月間招へいし、それぞれの専門分野について学ぶとともに、ホームステイ受入家族などとの幅広い交流を通じて相互理解を深め、信頼と友情を築くことを目的としています。

招へい国は当初アセアン6カ国のみでしたが、現在は120カ国・地域以上にまで拡大し、昭和59年度に事業を開始して以来、17年間で日本を訪問した青年は21,507名に達しました。これはひとえに、関係各方面の皆様のご協力と温かいご支援によるものと、心からお礼申し上げます。

本報告書は、招へい青年、合宿セミナーに参加した日本青年およびホームステイを引き受けていただいた全国の家庭の皆様から寄せられた感想文を中心に、招へい青年の滞在記録をとりまとめたものです。本報告書が本事業のさらなる発展の指針となり、また皆様の良き思い出の一助となれば幸いです。なお、本報告書は今年度の全招へい青年および各国の関係者にも送付させていただく予定です。

最後となりましたが、心温まるご感想、ご意見をお寄せいただいた皆様ならびに関係者の方々に重ねてお礼申し上げますとともに、「青年招へい事業」がさらに有意義なプログラムとなりますよう、今後ともご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成13年3月

国際協力事業団
国内事業部
部長 今津 武

目 次

はじめに

1. 青年招へい事業—アジア・太平洋・アフリカ・中南米諸国、サウディ・アラビア—

| | |
|-------------------------|----|
| 1-1 概要 | 7 |
| 1-2 平成12年度青年招へい実績一覧 | 12 |
| 1-3 青年招へい事業 国別年度別受け入れ実績 | 14 |

2. 招へい青年の印象

アジア

| | |
|---------|----|
| カンボディア | 17 |
| インドネシア | 18 |
| ラオス | 21 |
| マレーシア | 22 |
| ミャンマー | 25 |
| フィリピン | 26 |
| タイ | 30 |
| ヴェトナム | 34 |
| 東ティモール | 36 |
| バングラデシュ | 37 |
| ブータン | 37 |
| インド | 38 |
| モルディヴ | 38 |
| ネパール | 39 |
| パキスタン | 39 |
| スリ・ランカ | 40 |
| モンゴル | 40 |
| カザフスタン | 41 |
| グルジア | 42 |

太平洋諸国・地域

| | |
|------------|----|
| バプア・ニューギニア | 43 |
| フィジー、サモア | 44 |
| ミクロネシア | 45 |
| ニウエ | 45 |

アフリカ

| | |
|------|----|
| ガーナ | 46 |
| マラウイ | 46 |
| マリ | 47 |
| モロッコ | 47 |
| セネガル | 48 |
| ザンビア | 48 |

中南米

| | |
|-------|----|
| チリ | 49 |
| ジャマイカ | 49 |

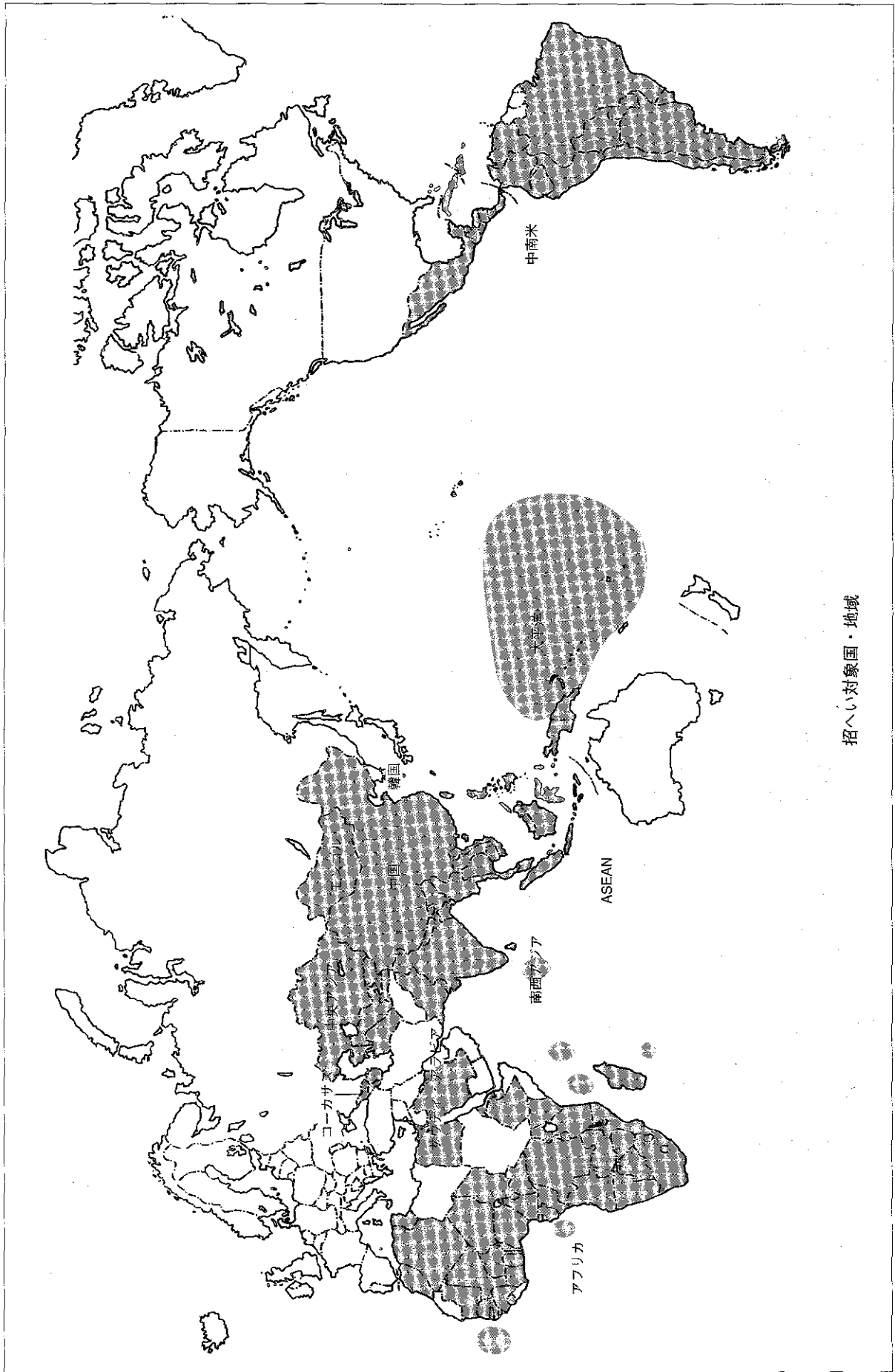
サウディ・アラビア

| | |
|-----------|----|
| サウディ・アラビア | 50 |
|-----------|----|

3. 合宿セミナー参加日本青年の声

4. ホストファミリーの思い出

JICA関係機関連絡先



招へい対象国・地域

1 青年招へい事業

アジア・太平洋・アフリカ・中南米諸国、サウディ・アラビア

1-1 概要

(1) 事業の目的

青年招へい事業は国際協力事業団（JICA）が開発途上国を対象に実施する技術協力の一環として、これら諸国の未来の国造りを担う青年を専門分野別に28日間わが国に招へいし、それぞれの分野について学ぶとともに、これらの参加青年が日本の同世代の青年との交流を通じ相互理解を深め真の友情と信頼を培うことを目的とする。

(2) 招へい事業

ア 招へい人数

平成12年度は、合計1,658名を招へいした。内訳はASEAN 9カ国・地域より806名（インドネシア151名、マレーシア153名、フィリピン、タイ各150名、ヴェトナム100名、ラオス30名、カンボディア40名、ミャンマー30名、東ティモール2名）、パプア・ニューギニア、フィジーをはじめとする太平洋14カ国・地域より88名、中国より320名、韓国より90名、インド、パキスタンをはじめとする南西アジア7カ国より99名、モンゴルより10名、アフリカ諸国42カ国より136名、中南米諸国31カ国より50名、サウディ・アラビアより20名、中央アジア5カ国より24名、コーカサス3カ国より15名である。

イ 招へい対象者

以下の分野の指導的立場にある18～35歳の青年。

(ア) 経済、中小企業経営

経済官庁公務員、金融・貿易関係民間実務者、中小企業従事民間実務者、等

(カンボディア、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ヴェトナム、ASEAN混成、太平洋諸国、中央アジア諸国、コーカサス諸国)

(イ) 教育、教員、理数科教員、女性教員、小中学校教員、教育行政

教員、教育行政公務員、文化・スポーツ関係者、等

(インドネシア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ヴェトナム、ASEAN混成、バングラデシュ、ブータン、インド、モルディヴ、ネパール、スリ・ランカ、太平洋諸国、アフリカ諸国、中南米諸国、サウディ・アラビア)

(ウ) 行政、地方行政官、公務員

国家公務員、地方公務員、政府機関職員、等

(カンボディア、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ヴェトナム、モンゴル、太平洋諸国)

(エ) 農業

農林水産業関係公務員、農林水産業従事実務者、等

(カンボディア、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ヴェトナム)

(オ) 科学技術

科学技術関係公務員、科学技術研究者、等

(ASEAN混成)

(カ) 公共・公益事業

通信関係公務員、通信従事実務者、等

(ASEAN混成)

(キ) 環境保全

環境保全行政関係公務員、環境保全団体指導者、等

(ASEAN混成、太平洋諸国)

(ク) 地域振興、地域開発

開発行政関係公務員、地域振興従事民間実務者、等

(インドネシア、ラオス、マレーシア、フィリピン、タイ、太平洋諸国)

(ケ) 医療、保健衛生

医師・看護婦等医療従事者、公衆衛生関係公務員、民間実務者、等

(ASEAN混成、パキスタン、アフリカ諸国)

(コ) 社会福祉

社会福祉関係公務員・現場職員、社会奉仕関係者、社会保障・労働関係公務員

(ASEAN混成、中南米諸国)

ウ 招へい期間

原則28日間（中国 教育部については21日間）。来日前、数日間の現地オリエンテーションプログラムを実施（実施しないグループもある）。

エ 受け入れ時期

2000年5月から2001年2月

(3) プログラム概要

| | | | |
|-----------|--------------------------------------|---|--|
| (数日間) | 現地オリエンテーションプログラム | 各グループの日本でのプログラム日程の説明 日本の生活にかかるガイダンス 日本語の日常会話の学習 渡航にかかる説明等 | |
| 来日 | 共通プログラム | 日本の全体像及び日本における各分野の全体的状況について、正確な理解を促進するための文化、経済、歴史及び各分野の基礎的な講義及び施設見学 | |
| (28日間) | 都内 分野別プログラム | 招へい分野の講義や関連施設の視察、研修 | |
| | | 日本の同分野・同世代の青年との意見交換、交流の場 | |
| | 分 野 別 プ ロ グ ラ ム | 地方 分野別プログラム | 招へい分野の講義や関連施設の視察、研修及び地方の同分野・同世代の青年との交流 |
| | | | 日本の家庭生活の体験 |
| | ホームステイプログラム | 日本の家庭生活の体験 | |
| 見学旅行プログラム | 日本の文化、伝統、歴史等を理解するための見学旅行 | | |
| 帰国 | 評価プログラム | 全プログラムに関する評価会 | |

(4) アフターケア事業

「青年招へい事業」により日本に招へいた青年が、帰国後も対日理解を増進し、日本の同世代の青年たちとの友情を持続させるよう、青年の帰国後、以下のアフターケア事業を実施している。

ア 文献供与

帰国青年に対し、日本でのプログラム内容をとりまとめた「交流レポート」やJICA海外向け広報誌「JICA Network」などの送付を行い、帰国後も対日理解が持続されるよう、情報提供を実施している。

イ 各国同窓会の設立

各国の帰国青年によって構成される同窓会設立を促進し、新規招へい青年の現地プログラムへの協力、帰国青年のための総会及び会報作成等の活動を同窓会が主体的に実施するにあたり、所要経費負担をするなど側面的支援を行っている。ブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ及びカンボディア、ヴェトナムではすでに同窓会が設立され、ラオスにおいては、準備中あるいはその機運が盛り上がっている。また、それ以外の国々でも、JICAの「技術研修員受入事業」により来日した元研修員と合同で同窓会を組織し、活動している場合が多い。

ウ 同窓会交流連絡会

各国同窓会の連携を図ることによって、各国同窓会を充実し、日本の招へい事業の効果を継続的、多角的に発展させるため、各国同窓会が一堂に会して交流連絡会を開催するにあたり、日本側は旅費等の経費面で支援するとともに、日本側代表者を派遣し、各国代表者との包括的な意見交換等を行っている。なお交流連絡会は、現在のところ、同窓会が設立されているASEAN諸国間で行われており、1988年に第1回連絡会がインドネシアで開催され、その後、毎年持ち回りで実施されている。2000年4月にはわが国において各国同窓会代表者を招へいし、2000年シンポジウムが開催された。

エ アフターケア・チームの派遣

青年の招へいに中心的役割を果たした交流青年、ホストファミリー、関係機関担当者から構成される日本青年団を各国に派遣することによって、帰国青年の日本理解をフォローアップするとともに、受入関係者が各国の実態を把握することによって、より効果的なプログラム策定に役立てる。また、これらアフターケア・チームの派遣により、片側通行であった交流事業を相互に発展・拡充させ、一層の信頼と友情を深める。平成12年度はマレーシア、バングラデシュ、タイに3チーム派遣した。

1-2 平成12年度青年招へい実績一覧

| 受入時期 陣・人数 | 国名 | 分野 | 人数 | 都内実施協力団体 | 実施県 | 地方実施協力団体 |
|--------------------------|---|--|----------------------------|--|----------------------------|---|
| 5月10日 6月6日 1陣74人 | フィリピン フィリピン フィリピン | 教員(理数科教育) 農業(水産業) 中小企業経営 | 23 23 28 | (財)世界青少年交流協会 日本青年団協議会 (社)勤労厚生協会 | 長野 愛媛 山梨 | 長野県世界青年友の会 愛媛県青年海外協力協会 (社)青少年育成山梨県民会議 |
| 5月17日 6月13日 2陣100人 | 中国 中国 中国 中国 | 青年指導者 経済青年 公務員 教員 | 25 25 25 25 | (社)青少年育成国民会議 (財)国際善隣協会 (財)ユースワーカー能力開発協会 (財)日本友愛青年協会 | 徳島 群馬 富山 高知 | 徳島県日中青年交流協会 (財)群馬県国際交流協会 (財)とやま国際センター 高知希望工程基金会 |
| 5月17日 6月13日 3陣88人 | パプア・ニューギニア パプア・ニューギニア 太平洋混成 太平洋混成 太平洋混成 | 教育(初等教育) 地域開発(経済) 社会開発(教育) 経済開発 環境保全 | 15 15 23 19 16 | (社)国際交流サービス協会 (財)世界青少年交流協会 (社)日本経済青年協議会 (財)日本ユースホステル協会 (社)青年海外協力協会 | 石川 静岡 岡山 石川 島根 | 小松市国際交流協会 沼津国際交流協会 (財)岡山県青年館 (財)石川県ユースホステル協会 (財)しまね国際センター |
| 5月24日 6月20日 4陣88人 | ヴェトナム ヴェトナム インドネシア インドネシア | 教育 公務員 教員(理数科教育) 農業(水産業) | 22 21 23 22 | (財)ユースワーカー能力開発協会 (財)日本ユースホステル協会 (社)勤労厚生協会 (社)青年海外協力協会 | 宮崎 宮城 群馬 山形 | (財)ユースワーカー能力開発協会宮崎県支部 宮城県ユースホステル協会 アセアン青年招へい事業館林市実行委員会 山形県青年海外協力協会 |
| 5月31日 6月27日 5陣69人 | タイ タイ タイ | 中小企業経営 教員(小学校教員) 農業(水産業) | 23 23 23 | (社)勤労厚生協会 (財)日本国際協力センター (社)日本経済青年協議会 | 北海道 香川 大分 | とまこまい国際交流センター (財)香川県国際交流協会 大分県海外協会 |
| 6月7日 7月4日 6陣50人 | バングラデシュ カンボディア カンボディア | 教員(中等理数科教員) 農業(流通) 公務員(行政改革) | 20 15 15 | (社)駒ヶ根青年会議所 (社)青少年育成国民会議 (社)日本経済青年協議会 | 長野 北海道 広島 | (社)駒ヶ根青年会議所 青年海外協力協会北海道OB道東支部 広島YMCA |
| 6月21日 7月18日 7陣82人 | アセアン混成 アセアン混成 アセアン混成 | 教育行政 保健衛生(保健医) 社会福祉(児童青年福祉) | 26 28 28 | (社)日本国際生活体験協会 (財)国際看護交流協会 (財)札幌国際プラザ | 岐阜 長野 北海道 | 岐阜県世界青年友の会 (財)国際看護交流協会 (財)札幌国際プラザ |
| 7月5日 8月1日 8陣90人 | 韓国 韓国 韓国 韓国 | 青年指導者・公務員 勤労青年(技術系) 教員(養護学校) 学生(理工系) | 23 21 22 24 | (社)日本経済青年協議会 (財)日本ユースホステル協会 (社)国際交流サービス協会 (財)世界青少年交流協会 | 長崎 徳島 埼玉 滋賀 | 長崎県世界青年友の会 徳島県青年海外派遣の会 上尾市国際交流協会 滋賀県青年団体連合会 |
| 7月12日 8月8日 9陣84人 | フィリピン フィリピン ヴェトナム ヴェトナム | 行政(中央行政) 地域振興 経済 農業 | 20 21 22 21 | (財)世界青少年交流協会 (社)勤労厚生協会 (財)ユースワーカー能力開発協会 (社)青年海外協力協会 | 新潟 山口 大阪 茨城 | (財)新潟県国際交流協会 (財)山口県国際交流協会 (財)太平洋人材交流センター 茨城県外国青年招へい事業実行委員会 |
| 7月12日 8月8日 10陣46人 | タイ タイ | 行政(中央行政) 地域振興(地域社会開発) | 23 23 | (財)日本国際協力センター (社)勤労厚生協会 | 北海道 愛知 | (社)滝川国際交流協会 ジャパンヤングサークル東海支部 |
| 8月16日 9月12日 11陣66人 | ラオス マレーシア マレーシア | 地域開発 行政(中央行政) 農業(水産業) | 20 25 21 | (財)岩手県国際交流協会 (財)日本国際協力センター (社)青年海外協力協会 | 岩手 青森 鹿児島 | (財)岩手県国際交流協会 青森県青年海外協力協会 (財)鹿児島県国際交流協会 |
| 8月16日 9月12日 12陣72人 | パキスタン アセアン混成 アセアン混成 | 医療(医師) 経済(貿易) 科学技術 | 20 28 24 | (財)国際看護交流協会 (社)青少年育成国民会議 (財)豊川市国際交流協会 | 香川 福岡 愛知 | 香川県青年海外派遣の会 (社)九州・山口経済連合会 (財)豊川市国際交流協会 |

| 受入時期 陣・人数 | 国名 | 分野 | 人数 | 都内実施協力団体 | 実施県 | 地方実施協力団体 |
|-----------------------------|--|--|----------------------------|--|-----------------------------|---|
| 8月23日 9月19日 13陣52人 | アセアン混成 アセアン混成 | 環境保全(自然環境保全) 公共・公益事業(通信) | 28 24 | 釧路市海外青年招へい事業実行委員会 (社)国際交流サービス協会 | 北海道 富山 | 釧路市海外青年招へい事業実行委員会 富山県世界青年友の会 |
| 10月11日 11月7日 14陣100人 | 中国 中国 中国 中国 | 人材育成 経済開発 地域振興 産業基盤整備 | 25 25 25 25 | (財)日本ユースホステル協会 (社)青少年育成国民会議 (財)ユースワーカー能力開発協会 (社)国際善隣協会 | 京都 熊本 大阪 群馬 | (財)京都ユースホステル協会 熊本県青年海外協力協会 (財)大阪府青少年活動財団 群馬県世界青年友の会 |
| 10月25日 11月21日 15陣40人 | ミャンマー サウディ・アラビア | 教育 教員(小中高教員) | 20 20 | (社)日本国際生活体験協会 (社)青年海外協力協会 | 岡山 栃木 | 岡山県世界青年友の会 (財)栃木県青年会館 |
| 11月8日 12月5日 16陣59人 | スリ・ランカ ブータン/モルディブ ネパール インド | 教育(小中高教員) 教育(小中高教員) 教育(社会科教員) 教育(理数科教員) | 10 9 10 30 | (財)日本ユースホステル協会 (財)愛知県国際交流協会 (社)国際交流サービス協会 (財)世界青少年交流協会 | 静岡 愛知 佐賀 山口 | (財)静岡県国際交流協会 (財)愛知県国際交流協会 佐賀ユネスコ協会 世界青年徳山友の会 |
| 11月23日 12月20日 17陣61人 | アフリカ(仏語圏) アフリカ(仏語圏) アフリカ(仏語圏) | 女性教員 理数科教員 保健衛生 | 19 20 22 | (財)世界青少年交流協会 (社)日本経済青年協議会 (財)大阪府国際交流財団 | 和歌山 岡山 大阪 | (財)和歌山県青少年育成協会 津山と世界を結ぶ会 (財)大阪府国際交流財団 |
| 11月26日 12月16日 18陣120人 | 中国 中国 中国 中国 中国 | 中学校教員1 高等学校教員 小学校教員1 小学校教員2 教員 | 24 24 24 24 24 | (社)青少年育成国民会議 (財)世界青少年交流協会 (社)勤労厚生協会 (財)日本ユースホステル協会 (社)日本中国友好協会 | 沖縄 福井 鳥取 福岡 三重 | (社)沖縄県青少年育成県民会議 鯖江市国際交流協会 とっとり青友会 福岡県外国青年招へい事業実行委員会 (財)三重県国際交流財団 |
| 1月10日 2月6日 19陣71人 | インドネシア インドネシア インドネシア | 中小企業経営 行政 地域振興 | 24 23 24 | (財)日本ユースホステル協会 (財)日本国際協力センター (社)青年海外協力協会 | 福島 奈良 北海道 | 福島県青年海外派遣友の会 (社)まちづくり国際交流センター 十勝インターナショナル協会 |
| 1月18日 2月14日 20陣99人 | 中央アジア混成 コーカサス混成 モンゴル 中南米混成(英語) 中南米混成(西語) | 経済 経済 地方行政官 社会福祉 小中学校教員 | 24 15 10 20 30 | (社)青少年育成国民会議 (財)日本ユースホステル協会 (財)世界青少年交流協会 (社)日本国際生活体験協会 (社)青年海外協力協会 | 北海道 大阪 福井 沖縄 福岡 | 北海道YMCA (財)北海道ユースホステル協会 (財)福井県国際交流協会 (財)沖縄県国際交流人材育成財団 (社)青年海外協力協会九州支部 |
| 1月18日 2月14日 21陣72人 | マレーシア マレーシア マレーシア | 中小企業経営 教員(理数科教育) 地域振興 | 25 25 22 | (社)勤労厚生協会 (社)国際交流サービス協会 (社)日本経済青年協議会 | 千葉 兵庫 広島 | (財)千葉県国際交流協会 (財)兵庫県青少年本部 しょうばら国際交流協会 |
| 1月24日 2月20日 22陣75人 | アフリカ(英語圏) アフリカ(英語圏) アフリカ(英語圏) | 女性教員 理数科教員 保健衛生 | 25 27 23 | (財)世界青少年交流協会 (社)青少年育成国民会議 (社)青年海外協力協会 | 福島 京都 愛媛 | にはんまつ地球市民の会 (社)青年海外協力協会近畿支部 (財)愛媛県国際交流協会 |
| 合計 | 75グループ 115カ国・地域 1,658人 | カンボディア(40) インドネシア(151) ラオス(30) マレーシア(153) ミャンマー(30) フィリピン(150) タイ(150) ヴィエトナム(100) 東ティモール(2) 太平洋14カ国・地域(88) 中国(320) 韓国(90) 南西アジア7カ国(99) モンゴル(10) アフリカ42カ国(136) 中南米31カ国(50) サウディ・アラビア(20) 中央アジア5カ国(24) コーカサス3カ国(15) | | | | |

1-3 青年招へい事業 国別年度別受け入れ実績

| 国名 | 年度 | 昭和 59 | 昭和 60 | 昭和 61 | 昭和 62 | 昭和 63 | 平成 元 | 平成 2 | 平成 3 | 平成 4 | 平成 5 | 平成 6 | 平成 7 | 平成 8 | 平成 9 | 平成 10 | 平成 11 | 平成 12 | 合計 |
|--------------|----|----------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|--------|
| ブルネイ | | 5 | 30 | 49 | 50 | 50 | 49 | 50 | 43 | 50 | 48 | 49 | 48 | 49 | 48 | 42 | - | - | 660 |
| カンボディア | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 40 | 190 |
| インドネシア | | 149 | 150 | 150 | 150 | 150 | 149 | 150 | 149 | 147 | 149 | 145 | 150 | 149 | 150 | 148 | 149 | 151 | 2,535 |
| ラオス | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 20 | 18 | 20 | 20 | 34 | 30 | 142 |
| マレーシア | | 147 | 148 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 149 | 150 | 150 | 146 | 149 | 153 | 2,542 |
| ミャンマー | | - | - | 10 | 10 | - | - | - | - | - | - | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 30 | 170 |
| フィリピン | | 149 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 149 | 147 | 148 | 149 | 150 | 149 | 150 | 148 | 149 | 150 | 150 | 2,538 |
| シンガポール | | 149 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 147 | 149 | 149 | 147 | 146 | 149 | 148 | 106 | - | - | 2,190 |
| タイ | | 149 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 149 | 147 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 2,545 |
| ヴェトナム | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 98 | 99 | 99 | 100 | 115 | 100 | 611 |
| 東ティモール | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 2 |
| ASEAN諸国・地域小計 | | 748 | 778 | 809 | 810 | 800 | 798 | 799 | 786 | 793 | 792 | 811 | 960 | 964 | 963 | 911 | 797 | 806 | 14,125 |
| 中国 | | - | - | - | 100 | 100 | 50 | 199 | 200 | 199 | 197 | 200 | 197 | 200 | 200 | 200 | 320 | 320 | 2,682 |
| 韓国 | | - | - | - | 100 | 99 | 99 | 100 | 98 | 99 | 96 | 100 | 98 | 100 | 97 | 99 | 100 | 90 | 1,375 |
| モンゴル | | - | - | - | - | - | - | - | - | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 90 |
| バングラデシュ | | - | - | - | - | - | - | - | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 19 | 20 | 20 | 20 | 199 |
| ブータン | | - | - | - | - | - | - | - | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 49 |
| インド | | - | - | - | - | - | - | - | 30 | 29 | 30 | 13 | 23 | 27 | 24 | 28 | 30 | 30 | 264 |
| モルディヴ | | - | - | - | - | - | - | - | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 50 |
| ネパール | | - | - | - | - | - | - | - | 10 | 9 | 10 | 10 | 10 | 10 | 7 | 10 | 9 | 10 | 95 |
| パキスタン | | - | - | - | - | - | - | - | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 200 |
| スリ・ランカ | | - | - | - | - | - | - | - | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 100 |
| 南西アジア諸国小計 | | - | - | - | - | - | - | - | 100 | 98 | 100 | 83 | 93 | 97 | 90 | 98 | 99 | 99 | 957 |
| アフリカ諸国 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 50 | 100 | 97 | 95 | 95 | 92 | 144 | 136 | 809 |
| バブア・ニューギニア | | - | - | 10 | 14 | 30 | 34 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 29 | 29 | 30 | 30 | 416 |
| フィジー | | - | - | 10 | 10 | 11 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 175 |
| その他太平洋諸国・地域 | | - | - | - | - | 45 | 38 | 36 | 32 | 36 | 34 | 38 | 36 | 47 | 47 | 47 | 44 | 46 | 526 |
| 太平洋諸国・地域小計 | | - | - | 20 | 24 | 86 | 84 | 78 | 74 | 78 | 76 | 80 | 78 | 89 | 88 | 88 | 86 | 88 | 1,117 |
| 中南米諸国 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 50 | 49 | 54 | 50 | 203 |
| サウディ・アラビア | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 20 | 20 | 20 | 60 |
| カザフスタン | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 6 | 5 | 5 | 16 |
| キルギス | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 5 | 5 | 5 | 15 |
| タジキスタン | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 5 | 5 | 3 | 13 |
| トルクメニスタン | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 4 | 5 | 5 | 14 |
| ウズベキスタン | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 5 | 5 | 6 | 16 |
| 中央アジア5カ国 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 25 | 25 | 24 | 74 |
| アルメニア | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 5 | 5 |
| アゼルバイジャン | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 5 | 5 |
| グルジア | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 5 | 5 |
| コーカサス3カ国 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 15 | 15 |
| 合計 | | 748 | 778 | 829 | 1,034 | 1,085 | 1,031 | 1,176 | 1,258 | 1,277 | 1,321 | 1,384 | 1,533 | 1,555 | 1,593 | 1,592 | 1,655 | 1,658 | 21,507 |

分野別プログラム実施道府県

